

## 第3 国際協力

## 1 県費留学生・研修生受入事業（国際課）

海外に在住の新潟県出身者の子弟や友好善隣関係にある中国、ロシア極東、モンゴル、韓国出身者等を県に招致し、県内大学等で知識の習得に努めてもらうもの。留学生は昭和44(1969)年から県内大学等へ、研修生は昭和60(1985)年から県立がんセンター新潟病院等への受入を実施している。

年 度	国別 合計	ブラジル	メキシコ	韓国	モンゴル	ロシア	中国	ベトナム
昭和 44 (1969)								
63 (1988)	94	37	3	3	0	0 0	51 (9)	
平成 元 (1989)	14	2		2			10 (2)	
2 (1990)	14	2		3			9 (2)	
3 (1991)	15	2		2			11 (2)	
4 (1992)	17	2		3		2 (2)	10 (4)	
5 (1993)	20	2		3	2	3 (2)	10 (2)	
6 (1994)	19	2		2	1	3 (2)	11 (2)	
7 (1995)	18	2		2	1	2 (1)	11 (2)	
8 (1996)	21	2		3	1	3 (1)	12 (2)	
9 (1997)	20	2		3	1	3 (1)	11 (2)	
10 (1998)	18	2		2	1	2	11 (2)	
11 (1999)	20	2		2	1	3	12 (2)	
12 (2000)	19	2		2	1	3	11 (2)	
13 (2001)	20	2		2	1	3	12 (2)	
14 (2002)	19	1		2	1	3	12 (2)	
15 (2003)	16	1		1	1	2	11 (2)	
16 (2004)	13	1		1	1	2	8 (2)	
17 (2005)	9	1		1		1	6 (2)	
18 (2006)	9	1		1		1	5 (1)	1
19 (2007)	9	1		1		1	5 (1)	1
20 (2008)	10	1		1	1	1	5 (2)	1
21 (2009)	9	1		1	1	1	5 (2)	
22 (2010)	8			1	1	1	5 (2)	
23 (2011)	5	1		1	1		2 (1)	
24 (2012)	8	1		1		1	5 (2)	
25 (2013)	9	1		1	1	1	5 (2)	
26 (2014)	8	1		1	1		4 (1)	1
27 (2015)	8	1		1	1	1	3 (1)	1
28 (2016)	8	1		1	1	1	3 (1)	1
29 (2017)	7	1		1	1	1	2	1
30 (2018)	9	1		1	2	1	2	2
令和 元 (2019)	4			1	2			1
2 (2020)	2				1			1
3 (2021)	1							1
4 (2022)	5	1		2	1		1	
5 (2023)	5			1	1		3	
6 (2024)	2				1		1	
合 計	512	80	3	56	30	46 (9)	285 (61)	12

(注) 「ロシア」欄の( )内は、アップル外語観光カレッジへの研修生受入数(内数)

「中 国」欄の( )内は、県立がんセンター新潟病院等への研修生受入数(内数)

2 各分野での国際協力

(1) 農林水産

ア アセアン農業研修生等受入事業（経営普及課）

新潟県国際農業者交流協会が主体となって、アセアン諸国の農業青年を研修生として受け入れ、農家生活体験を通じて技術指導を行うとともに、県内農業青年との友好交流を深めることをねらいとして実施している。令和7(2025)年度はインドネシア2，フィリピン1の農業青年を受入れ。

表 2-3-1 アセアン農業研修生受入事業

区分	昭58～平元 (1983～1989)	平2～令元 (1990～2019)	令2～3 (2020～2021)	令4 (2022)	令5 (2023)	令6 (2024)	令7 (2025)	計
受入人数	37人	183人	新型コロナウイルスの影響により中止	5人	3人	3人	3人	234人
受入国	タイ	インドネシア		インドネシア	インドネシア	インドネシア2 フィリピン1	インドネシア2 フィリピン1	タイ37 インドネシア195 フィリピン2

昭58(1983)～平4(1992)はアセアン農業研修生交流促進事業

(2) 環境

ア 地球環境保全事業（環境対策課）

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)のネットワークセンターとして指定された酸性雨研究センター（現アジア大気汚染研究センター）の活動基盤及び国際会議開催に支援を行い、日本を含む東アジア地域の酸性雨対策に役立てることを目的に国際環境協力を推進するもの。

平成12(2000)年度から本格的に以下のネットワークセンター業務が開始され、令和7(2025)年度現在のネットワーク参加国は13カ国となっている。

<同ネットワークセンターの主な業務>

モニタリングデータの収集・評価、モニタリングデータの精度保証・精度管理、EANET参加各国に対する研修・技術支援、調査研究、国際会議開催

平成22(2010)年11月に第12回政府間会合が新潟市・朱鷺メッセで開催され、県は新潟市等と実行委員会を組織し開催支援を行った。

イ 黒龍江省への協力事業（平成10(1998)年度～）（再掲）

(ア) 環境技術研修員の受入（環境政策課）

黒龍江省との環境分野における交流として、研修生の受入や環境分野での現地技術指導など協力事業を実施した。平成16(2004)年度からは、要望に応じて技術情報の提供等の協力を行うこととしている。

### 3 草の根技術協力事業

JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施する国民参加協力推進事業の一環で、自治体の実施する国際協力事業に対しJICAが委託者、自治体が受託者となる業務委託契約の締結により技術協力を共同実施する制度。当県は平成14(2002)年度に道路と医療の2案件が採択となり平成16(2004)年度まで3か年計画で事業を実施した。平成17(2005)年度からは道路と医療に加え植林の3案件が認められ、ともに3か年計画で事業を実施した。平成20(2008)年度からは、橋梁案件が、平成21(2009)年度からは農村環境案件が採択となり、それぞれ3か年計画で事業を実施した。平成24(2012)年度からは新規の農村環境案件が採択となり、3か年計画で事業を実施した。平成25(2013)年度から緑化推進協力が認められ、3か年計画で事業を実施した。平成28(2016)年度からは新規の農村環境案件が採択となり、3か年計画で事業を実施している。令和3(2021)年度から緑化推進技術協力が認められ、3か年計画で事業を実施した。

#### 《平成20(2008)年度～平成22(2010)年度の事業》

新潟県・黒龍江省橋梁維持管理計画技術協力事業（道路管理課、国際課）

黒龍江省は、冬期の最低気温が $-40^{\circ}$ にもなる厳しい環境下にあり、建設時の品質管理も本県とは異なるため、その供用寿命を著しく縮めている。寒冷地である新潟県の技術協力により、適時適切な点検と補修による橋梁の長寿命化を図る。

表 2-3-2

新潟側実施主体	黒龍江側実施主体
新潟県土木部 (一財)新潟県建設技術センター 新潟県対外科学技術交流協会(NPO) 新潟県知事政策局	黒龍江省交通庁 黒龍江省交通科学研究所 黒龍江省有料道路管理局 黒龍江省人民政府外事弁公室
【平成20(2008)年度】	研修員受入 6名、5日間(12月15日～12月19日) 専門家派遣 6名、7日間(8月25日～8月31日)
【平成21(2009)年度】	研修員受入 4名、28日間(11月30日～12月27日) 専門家派遣 5名、7日間(11月9日～11月15日)
【平成22(2010)年度】	研修員受入 4名、26日間(2月16日～3月13日) 専門家派遣 5名、7日間(10月25日～10月31日)

#### 《平成21(2009)年度～23(2011)年度の事業》

黒龍江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業

(農業総合研究所畜産研究センター、国際課)

家畜の糞尿や農作物の残渣などの農業廃棄物の再利用が進んでいないため、大気、土、水への環境汚染が深刻な問題となっている黒龍江省順利村において、新潟県の先進的なバイオマス利用技術を導入し、村の環境改善を図る。

表 2-3-3

新潟側実施主体	黒龍江側実施主体
新潟大学農学部 新潟県日中友好協会(NPO) 新潟県農業総合研究所畜産研究センター 新潟県知事政策局	東北農業大学 黒龍江省科学技術庁 黒龍江省双城市順利村
【平成21(2009)年度】	研修員受入 4名、10日間 専門家派遣 5名、21日間
【平成22(2010)年度】	研修員受入 6名、10日間 専門家派遣 5名、16日間
【平成23(2011)年度】	研修員受入 6名、10日間 専門家派遣 4名、14日間

《平成 22(2010)年度～24(2012)年度の事業》

新潟県・ウランバートル市道路排水計画技術協力事業（都市整備課、国際課）

《平成 26(2014)年度～28(2016)年度の事業》

新潟県・ウランバートル市地区排水技術協力事業（都市整備課、国際課）

近年、急速な都市化に伴う雨水の地下浸透力の低下や集中的な降雨の発生により、道路の湛水が問題になっているウランバートル市において、技術者の人材育成を通じて新潟県が有する道路排水技術の移転を図り、道路湛水問題の解決と都市生活環境の向上に寄与する。

表 2-3-4

新潟側実施主体	ウランバートル側実施主体
新潟県対外科学技術交流協会（NPO） 新潟県土木部 新潟県知事政策局 （公財）環日本海経済研究所 （公財）新潟県国際交流協会	ウランバートル知事室道路部
【平成 22(2010)年度】	研修員受入 9名、9日間 専門家派遣 9名、6日間
【平成 23(2011)年度】	研修員受入 4名、8日間 5名、8日間 専門家派遣 6名、6日間
【平成 24(2012)年度】	研修員受入 4名、7日間 専門家派遣 9名、6日間 8名、6日間
【平成 26(2014)年度】	研修員受入 6名、7日間
【平成 27(2015)年度】	研修員受入 6名、6日間 専門家派遣 7名、7日間 6名、7日間
【平成 28(2016)年度】	研修員受入 6名、7日間 専門家派遣 7名、6日間

《平成 24(2012)年度～26(2014)年度の事業》

黒龍江省林甸県荒漠地対策事業（農業総合研究所作物研究センター、国際課）

当該地域は土壌のアルカリ化が進み、荒漠化が拡大しており、深刻な環境問題と貧困問題に直面している。前事業で取り組んできた「熟成堆肥」の技術を導入することで、低生産性耕地の改良を図り、環境・貧困問題への対応を目指す。

表 2-3-5

新潟側実施主体	黒龍江側実施主体
新潟大学農学部 新潟県農業総合研究所作物研究センター 新潟県知事政策局国際課	東北農業大学 大慶市林甸県科学技術局 永春酪農協同組合
【平成 24(2012)年度】	専門家派遣 6名、32日間（5,6,8,1月）
【平成 25(2013)年度】	研修員受入 5名、8日間（10,11月） 専門家派遣 5名、31日間（5,7,9,10,11月）
【平成 26(2014)年度】	研修員受入 5名、20日間（8月） 専門家派遣 6名、27日間（5,7,9,10,11月）

《平成 25(2013)年度～28(2016)年度の事業》

モンゴル・東ゴビ砂漠（ドルノゴビ県）における緑化推進協力事業（林政課、森林研究所、国際課）

ドルノゴビ県が、自生種の増殖方法や効率的な水分管理手法を理解し、継続的な試験・評価・改善への自立的な取り組みを確立するとともに、地場の緑化産業の起業へ向け官民の機運の高まりを助長する。

表 2-3-6

新潟側実施主体	ドルノゴビ側実施主体
新潟県対外科学技術交流協会（NPO） 新潟県農林水産部 新潟県知事政策局 (公財)環日本海経済研究所 (公財)新潟県国際交流協会	ドルノゴビ県 サインシャンド市 造園会社

【平成 25(2013)年度】	専門家派遣	4名、8日間
【平成 26(2014)年度】	研修員受入	5名、6日間
	専門家派遣	4名、10日間×2回
【平成 27(2015)年度】	研修員受入	3名、5日間
	専門家派遣	4名、8日間
【平成 28(2016)年度】	専門家派遣	5名、7日間

## 《平成 28(2016)年度～31(2019)年度の事業》

## 黒龍江省綏化市食の安全と環境対策事業（国際課）

同地域は黒龍江省中南部に位置し、中国屈指の食糧及び輸出農産物の生産基地である。農業集約化が進み、化学肥料と農薬を大量使用している結果、大気、土壌、河川や地下水の汚染、生態系の攪乱などをもたらし、農作物の安全性問題や環境問題が生じている。また、現地から冷凍野菜が輸入されているため、日本の食の安全にも関わっている。化学肥料と農薬の使用に関する日本の先進的理念と技術を導入することにより、農産物安全性の確保、環境汚染の低減および生活環境の改善を図る。

表 2-3-7

新潟側実施主体	黒龍江側実施主体
NPO法人新潟県日中友好協会 新潟大学農学部 株式会社新潟ケンバイ ジェイカムアグリ株式会社 新潟県知事政策局	東北農業大学 綏化市農業技術普及センター 綏化市鑫諾瓜菜種植農民專業合作社 ほか

【平成 28(2016)年度】	専門家派遣	6名、6日間
【平成 29(2017)年度】	研修員受入	4名、8日間
	専門家派遣	1名5日間×2回、3名8日間、5名5日間、3名7日間
【平成 30(2018)年度】	研修員受入	4名、6日間
	専門家派遣	3名6日間、4名4日間、4名5日間、1名3日間
【令和元(2019)年度】	研修員受入	6名、6日間
	専門家派遣	2名6日間、2名4日間、6名6日間

## 《令和 3(2021)年度～令和 6(2024)年度の事業》

## 東ゴビ砂漠における深穴方式による乾燥寒冷地緑化推進技術協力事業(林政課、森林研究所、国際課)

近年の異常気象や過放牧等により、砂漠化の拡大が強く懸念されているモンゴル国において、乾燥寒冷地に適応した緑化技術を確立するとともに、地域住民の緑化についての意識啓発と習慣化を図ることにより、地域への定着を目指す。平成 25(2013)年度～平成 28(2016)年度に実施した「モンゴル・東ゴビ砂漠（ドルノゴビ県）における緑化推進協力事業」のフェーズとして実施する。

表 2-3-8

新潟側実施主体	ドルノゴビ側実施主体
新潟県対外科学技術交流協会（NPO） 新潟県農林水産部 新潟県知事政策局 (公財)環日本海経済研究所 (公財)新潟県国際交流協会	ドルノゴビ県 サインシャンド市 造園会社

【令和 4(2022)年度】	専門家派遣	5名（13日間、6月）、	4名（10日間、9月）
	研修員受入	4名（6日間、11月）	

- 【令和5(2023)年度】 専門家派遣 6名(10日間、5月)、 5名(11日間、9月)  
 研修員受入 5名(6日間、11月)  
 【令和6(2024)年度】 専門家派遣 5名(10日間、5月)、 5名(9日間、9月)

【参考】

《平成17(2005)年度～平成19(2007)年度の事業》

(1) 新潟・黒龍江・ハルビン医療技術協力事業(県立がんセンター新潟病院、国際課)

悪性血液疾患治療に対し、西洋医学の面で進んでいる新潟側医療機関の技術を黒龍江省側に提供するとともに、黒龍江省側の漢方薬を利用した新しい治療方法について情報を得ることにより、新潟側の医療技術の向上を図る。医師同士の治療法の研究だけではなく、病理診断や看護、基礎研究など幅広い技術交流を行う。

表2-3-9

新潟側実施主体		黒龍江側実施主体	
県立がんセンター新潟病院 新潟大学医学部 新潟市民病院 新潟県知事政策局		黒龍江省医院 ハルビン医科大学第一付属医院 ハルビン市第一医院 (ハルビン血液腫瘍研究所) 黒龍江省人民政府外事弁公室	
【平成17(2005)年度】	研修員受入 3名、2ヶ月(9月～10月) 専門家派遣 4名、6日間(11月)		
【平成18(2006)年度】	研修員受入 3名、2ヶ月(7月～8月) 専門家派遣 4名、6日間(2月)		
【平成19(2007)年度】	研修員受入 3名、2ヶ月(7月～9月) 専門家派遣 4名、6日間(3月)		

(2) 新潟県・黒龍江省嫩江流域荒漠化地区生態林建設技術協力事業(国際課、林政課・森林研究所)

中国東北部の大平原に位置する黒龍江省嫩江流域は、長年にわたる森林の過伐や洪水による土砂の流出と堆積、寒冷と乾燥の厳しい気候条件によって広範囲に土地の荒漠化が進行している。同地域は主要河川である松花江～アムール川を経て準閉鎖海域である日本海につながることから、日本海の海洋環境保全等を目的に嫩江流域における強風・飛砂・洪水等の被害防止や水源涵養等に効果を示す生態林建設技術と維持管理の向上にかかる技術協力を行い、森林資源の持続的利用、嫩江流域の農業生産性向上を図る。本事業は、平成17(2005)年度からの3ヵ年事業で平成19(2007)年度終了。

表2-3-10

新潟側実施主体		黒龍江省側実施主体	
新潟県日中友好協会(NPO) 新潟県対外科学技術交流協会(NPO) 新潟大学農学部 新潟県農林水産部林政課、森林研究所 新潟県知事政策局国際課		黒龍江省人民政府林業庁 黒龍江省防護林研究所 黒龍江省人民政府外事弁公室	
【平成17(2005)年度】	専門家派遣 7名(14～17日間、8月)		
【平成18(2006)年度】	研修員受入 6名(14日間、6～7月) 専門家派遣 3名(10日間、5月)、 7名(10日間、8～9月)		
【平成19(2007)年度】	研修員受入 6名(14日間、10月) 専門家派遣 5名(10日間、9月)		

## 4 新潟・国際協力ふれあい基金事業（県国際交流協会）

戦後50年を契機に、国際協力の必要性和平和の尊さに対する県民の認識を深め、地域からの国際協力を推進することを目的に、(公財)新潟県国際交流協会が事業主体となり、平成7(1995)年度から「新潟・国際協力ふれあい基金事業」が開始された。この基金の運用益により、海外の現地で活動している国内外のボランティア等に対して助成金を交付し、その活動を支援している。

これまでの助成実績（単位：千円） 平成7(1995)年度から平成20(2008)年度の分については割愛した。

【平成21(2009)年度】助成件数 8件 申請件数 8件		所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
NGOミャンマークラフト支援会	新潟県	ミャンマー	マダレー市サウダ-織物学校の縫製教育プログラム支援	1,000	
新潟発 カホジア支援プロジェクト730	新潟県	カンボジア	孤児院に暮らす子どもたちへの自立支援(ミシ等備品提供・指導)	200	
新潟医療福祉大学 医療技術学部 義肢装具自立支援学科	新潟県	台湾	台湾留学生勉学支援事業	1,000	
NPO法人フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	近代農業技術移転事業(育苗技術移転)	1,000	
新潟国際援助学生ボランティア協会	新潟県	タイ・ラオス	教材開発プロジェクト	500	
NPO法人新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	エンゴル・東ゴビ 沙漠緑化推進事業	645	
国際水彩画会	新潟県	中国	「新潟県の伝統工芸美術デザインを学ぶ」留学生研修プロジェクト2010	500	
南魚沼アジア交流会	新潟県	モンゴル	設立20周年記念フォーラム「生活環境問題」	420	
合計					5,265
【平成22(2010)年度】助成件数 6件 申請件数 7件		所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
未来予想図実行委員会	新潟県	インドネシア	ジャリ島火山噴火災害における救援活動	800	
国際復興支援チーム中越	新潟県	フィリピン	フィリピン-中越 被災地間交流事業	中止	
NPO法人フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	医療支援事業(MEDICAL MISSION)	800	
ミャンマーの医療を支援する会	新潟県	ミャンマー	ミャンマーの小児医療支援	1,000	
教育と環境の「爽」企画室	新潟県	インド	新設の認可小・中併設学校への設備・備品の配置	1,000	
国際水彩画会	新潟県	中国	「新潟の伝統と現代美術を学ぶ」留学研修プロジェクト2011	500	
NGOミャンマークラフト支援会	新潟県	ミャンマー	マダレー市サウダ-織物学校の縫製教育プログラム支援	1,000	
合計					5,100
【平成23(2011)年度】助成件数 5件 申請件数 5件		所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
NPO法人フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	医療支援事業(MEDICAL MISSION)	1,000	
NGOミャンマークラフト支援会	新潟県	ミャンマー	ミャンマーの一村一品運動を通じた自立支援	700	
NPO法人新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	エンゴル国立農業大学へのトラクターの贈呈	1,000	
新潟県エンゴル友好親善協会	新潟県	モンゴル	エンゴル新潟県親善協会の設立による国際協力の推進	480	
新潟県エンゴル国中小企業技術協力可能性調査実行委員会	新潟県	モンゴル	エンゴル国中小企業技術協力に係る研修生受入事業	1,000	
合計					4,180
【平成24(2012)年度】助成件数 6件 申請件数 6件		所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
特定非営利活動法人 フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	緊急艇造船事業(救急体制の確立)	500	
特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク	新潟県	ミャンマー	ミャンマーの一村一品運動を通じた自立支援	600	
メコン川流域地下水ヒ素汚染研究グループ	新潟県	ベトナム	メコン川流域地下水ヒ素汚染対策フォローアップ事業	720	
新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会	新潟県	モンゴル	スフバートル区雨水流未処理技術協力事業	1,000	
特定非営利活動法人 新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	ハバロフスク市ロシア極東ビジネス協議会 所属中小企業者との技術研修事業	900	
教育と環境の「爽」企画室	新潟県	インド	州認可初等教育学校に設備・備品を設置するプロジェクト研修生受入事業	1,000	
合計					4,720

第2章 第3

【平成25(2013)年度】助成件数 6件 申請件数 9件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
タイ山岳少数民族支援の会	新潟県	タイ	山岳民族向け貯水槽やパイプラインの設置	250
新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会	新潟県	モンゴル	スフバートル区雨水流末処理技術協力事業	800
新潟県モンゴル国中小都市の中小企業等への技術協力実行委員会	新潟県	モンゴル	中小製造業等の研修生受入	800
教育と環境の「爽」企画室	新潟県	インド	学校への掘削井戸及び調理室・食堂の施設・備品の設置	800
新潟アピの会	新潟県	スリランカ	児童施設への井戸や浄化設備・運動場の整備	400
特定非営利活動法人フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	緊急艇造船(救急体制の確立)	1,000
合計				4,050

【平成26(2014)年度】助成件数 9件 申請件数 12件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
タイ山岳少数民族支援の会	新潟県	タイ	山岳民族向け貯水槽やパイプラインの設置	1,000
(特活)フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	無医島での無料診療の実施及び不足している医薬品の増強	1,000
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	モンゴルの中小製造業等技術研修生に対するものづくり技術講座等の実施	1,000
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院での線香製造機導入による職業訓練及び自立支援	400
黒龍江省におけるかんがい技術改善協力事業実行委員会	新潟県	中国	圃場整備やパイプ灌漑といった農業土木技術普及のための技術協力	1,000
メコン川流域地下水ヒ素汚染研究グループ	新潟県	ベトナム	深層地下水の継続的モニタリングによる安全な水の維持・管理	900
(特活)チャコールブラックス	新潟県	フィリピン	住民の収入向上のための安全・安価な材料や方法による炭作り技術指導	500
(特活)日本歯科ボランティア協会	新潟県	ミャンマー	住民の口腔環境向上のための歯科医療支援	800
南魚沼アジア交流会	新潟県	モンゴル	モンゴル国立文化芸術大学で日本の文化紹介イベントを開催	400
合計				7,000

【平成27(2015)年度】助成件数 9件 申請件数 10件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院への線香製造機導入による職業訓練及び自立支援	780
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	研修員招聘、県内製造業企業等での視察・指導・意見交換等	1,000
タイ山岳少数民族支援の会	新潟県	タイ	現地パートナーNGOが使用する車輛の提供	366
(特活)フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	無医島への救急艇配備	1,000
黒龍江省におけるかんがい技術改善協力事業実行委員会	新潟県	中国	圃場整備、現地技術者招聘・圃場整備共同設計	1,000
南魚沼アジア交流会	新潟県	モンゴル	現地大学での日本文化を伝えるフォーラム開催	300
教育と環境の「爽」企画室	新潟県	インド	ストリートチルドレン自立支援センターのスポーツ用具等整備	500
メコン川流域地下水ヒ素汚染研究グループ	新潟県	ベトナム	安全な水の維持・管理体制の構築	730
(特活)日本歯科ボランティア協会	新潟県	ミャンマー	歯科医療支援、知識啓発・技術指導	1,000
合計				6,676

【平成28(2016)年度】助成件数 6件 申請件数 6件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	住宅建設及び鉄骨建築に係る加工・溶接の研修員の受け入れ	1,000
(特活)フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	離島の高校の机・椅子・黒板の整備	1,000
(特活)日本歯科ボランティア協会	新潟県	ミャンマー	歯科医療支援、知識啓発・技術指導	900
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院へのビーズ数珠製作機導入による職業訓練及び自立支援	930
黒龍江省におけるかんがい技術改善協力事業実行委員会	新潟県	中国	圃場整備、現地指導・県内技術研修	1,000
メコン川流域地下水問題調査グループ	新潟県	ベトナム	地下水の汚染機構の研究、地盤沈下について現地調査	784
合計				5,614

【平成29(2017)年度】助成件数 4件 申請件数 5件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	1,000
(特活)フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	県内での育苗技術習得(技術移転)	1,000
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院への学費支援、線香・ビーズ数珠製作経費支援	1,000
黒龍江省における農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	1,000
合計				4,000

【平成30(2018)年度】助成件数 6件 申請件数 7件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院への学費支援、線香・ビーズ数珠製作経費支援	1,070
黒龍江省における農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	1,136
(特活)美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム	新潟県	中国	環境分野の研究者を受け入れ、課題に対する改善手法の研究を推進	1,000
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	1,100
笹神複合営農受託組合	新潟県	フィリピン	農業者(研修生)を受け入れ、育苗土づくりの基本を指導	1,000
新潟・モンゴル会	新潟県	モンゴル	子供の無料虫歯治療実施、予防・治療のための器具を導入し歯科診療の水準を向上	1,120
合計				6,426

【令和元(2019)年度】助成件数 6件 申請件数 9件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院への学費支援、線香・ビーズ数珠製作経費支援	850
黒龍江省における農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	1,000
(特活)美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム	新潟県	中国	環境分野の研究者を受け入れ、課題に対する改善手法の研究を推進	900
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	1,000
笹神複合営農受託組合	新潟県	フィリピン	農業者(研修生)を受け入れ、園芸作物の生産技術を指導	1,130
(特活)フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	収入が少ない住民に対して歯科診療を支援	700
合計				5,580

【令和2(2020)年度】助成件数 7件 申請件数 8件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	孤児院の子ども達の進学・就職に向けた教育支援	750
黒龍江省における農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	1,000
(特活)美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム	新潟県	中国	環境分野の研究者を受け入れ、課題に対する改善手法の研究を推進	900
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	1,000
笹神複合営農受託組合	新潟県	フィリピン	農業者(研修生)を受け入れ、園芸作物の生産技術を指導	1,130
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	ベトナム	農業者(専門家)を受け入れ、高付加価値型農業技術を指導	621
新潟・モンゴル協会	新潟県	モンゴル	小中学生に対する日本語教育に必要な学習環境整備を支援	618
合計				6,019

第2章 第3

【令和3(2021)年度】助成件数 6件 申請件数 6件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	シェルターで暮らす孤児等に対する食料支援と職業訓練	710
黒龍江省における農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	1,000
(特活)美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム	新潟県	中国	環境分野の研究者を受け入れ、課題に対する改善手法の研究を推進	900
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	1,000
(特活)フィル・ジャパン・フレンドシップ	新潟県	フィリピン	スマラガ島で治療が必要な住民に対して歯科治療を実施	725
新潟・モンゴル協会	新潟県	モンゴル	小中学生に対する日本語教育に必要な学習環境整備を支援	618
合計				4,953

【令和4(2022)年度】助成件数 6件 申請件数 6件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	シェルターで暮らす孤児等に対する教育支援と職業訓練	840
黒龍江省における農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	900
(特活)美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム	新潟県	中国	環境分野の研究者を受け入れ、課題に対する改善手法の研究を推進	800
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	900
新潟県・ハイフォン市農業支援技術交流プロジェクト実行委員会	新潟県	ベトナム	農業分野の専門家による相互訪問、情報交換	700
笹神複合営農受託組合	新潟県	フィリピン	農業者(研修生)を受け入れ、園芸作物の生産技術を指導	791
合計				4,931

【令和5(2023)年度】助成件数 5件 申請件数 5件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
黒龍江省における河川及び農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	農村の生活環境整備、技術協力を目的とした県内研修	1,000
(特活)美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム	新潟県	中国	環境分野の研究者を受け入れ、課題に対する改善手法の研究を推進	1,000
(特活)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	県内先進企業・事業所及び大学への視察受け入れ	1,000
南魚沼アジア交流会	新潟県	モンゴル	現地大学での日本文化を伝えるフォーラム開催等	550
(特活)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	シェルターで暮らす孤児等に対する教育支援と職業訓練	1,030
合計				4,580

【令和6(2024)年度】助成件数 4件 申請件数 4件

団体名	所在地	事業箇所	助成対象事業	助成額
中国黒龍江省における河川及び農業農村整備技術協力実行委員会	新潟県	中国	河川工学や環境分野の研究者を受け入れ、技術検討や意見交換を実施	1,000
(特非)新潟国際ボランティアセンター	新潟県	ベトナム	教育・職業訓練を行う学生スタッフを設けるとともにシェルターでの商品開発を支援	640
新潟県立大学 RUENG	新潟県	ネパール	ネパールで発生した洪水や地滑り等の災害復興支援を実施	650
(特非)新潟県対外科学技術交流協会	新潟県	モンゴル	モンゴルの技術者を受け入れ、課題に対する専門的な改善提案等を実施	550
合計				2,840